

Press Release

子供が将来 就きたい仕事 日本の1位は「パティシエ」、アジアの総合1位は「医者」

- アデコグループのアジア9か国で、子供を対象にアンケートを実施 -

- 日本人の子供が就きたい仕事の1位は「パティシエ」。アジアでは「医者」が上位にランクイン。
- 男子は中学生になると「医者」がトップに。中学生女子は、小学生と同様「パティシエ」が1位。
- 東名阪の比較では、大阪が「エンターテインメント」系の割合が高いという結果に。
- 日本人の子供は、必ずしも収入の多い職業に憧れを持つわけではないという結果に。

【2014年1月23日 東京】

人財サービスのグローバルリーダーであるアデコグループの日本法人で、総合人事・人財サービスを展開するアデコ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：奥村真介、以下「アデコ」）と、アジア8か国（中国・香港・台湾・韓国・シンガポール・マレーシア・タイ・ベトナム）、計9か国におけるアデコグループにおいて、この度、子供を対象に「将来就きたい仕事」に関するアンケートを実施しました。

【アンケート結果の概要】

1) アジア9か国の子供の就きたい仕事ランキング

日本人の子供が就きたい仕事の1位は「パティシエ」となり、アジア各国では4か国で「医者」が最多となったことで、国ごとに子供たちの憧れの職業観に違いがあることがわかりました。9か国全てに共通してランクインしている職業は「医者」と「先生」で、どちらも身近に存在し、人を助ける、人に教える職業が各国の子供にとって憧れの仕事であることがわかります。

アジア9か国の子供が将来 就きたい仕事ランキング

	日本	中国	香港
1位	パティシエ	先生	医者
2位	医者	医者	先生
3位	サッカー選手	警察官	看護師
4位	野球選手	上司	消防士
5位	先生	科学者、弁護士、アスリート、軍人 (*)	シェフ

	台湾	韓国	シンガポール
1位	アスリート	医者	上司
2位	先生	先生	先生
3位	医者	サッカー選手	スーパーヒーロー
4位	警察官	シェフ	医者
5位	ビジネスパーソン	画家	獣医、社長、警察官 (*)

	マレーシア	タイ	ベトナム
1位	俳優・女優	医者	医者
2位	先生	軍人	先生
3位	医者	警察官	上司・管理職
4位	モデル	エンジニア	歌手
5位	レストランのオーナー、シェフ	先生	警察官、科学者 (*)

※ 対象 7歳～14歳
 ※ N: 日本 800人、アジア各国 150～200人
 ※ パティシエ: お菓子職人も含む
 ※ 運転手: バス・タクシー・電車など
 ※ 先生: 大学・高校・中学・小学校、幼稚園など

※ お稽古ごとの先生: ピアノなど
 (*) 同等数回答

2) 日本人の子供が就きたい仕事ランキング 【総合・男児対女児】

男子が就きたい仕事は1位が「サッカー選手」、2位が「野球選手」という順位になり、日本ではメジャーなスポーツ選手が上位を占めました。女子が就きたい仕事として「パティシエ」が全体の22%で1位となり、2位の「医者」9%に大差をつけて首位となりました。

日本人の子供が就きたい仕事ランキング (総合・男児・女児)

	総合	%	男子	%	女子	%
1位	パティシエ	12.6%	サッカー選手	12.8%	パティシエ	22.0%
2位	医者	8.5%	野球選手	10.2%	医者	9.0%
3位	サッカー選手	7.6%	医者	8.0%	先生	8.2%
4位	野球選手	6.5%	警察官・刑事	5.2%	お稽古事の先生	5.4%
5位	先生	5.5%	学者・博士	5.2%	漫画家	4.4%
6位	建築士・大工	3.2%	建築士・大工	5.0%	野球選手	2.8%
7位	学者・博士	3.2%	運転手	5.0%	俳優・女優	2.4%
8位	漫画家	3.1%	パティシエ	3.2%	作家	2.4%
9位	お稽古事の先生	3.0%	宇宙飛行士	3.0%	歌手	2.4%
10位	警察官・刑事	2.7%	先生	2.8%	サッカー選手	2.4%

- ※ 対象： 6歳～15歳
- ※ N： 全体1000人、男女各500人
- ※ パティシエ： お菓子職人も含む
- ※ 運転手： バス・タクシー・電車など
- ※ 先生： 大学・高校・中学・小学校、幼稚園など
- ※ お稽古ごとの先生： ピアノなど

3) 年代別 日本人の子供が就きたい仕事ランキング 【小学生対中学生】

女子にとって「パティシエ」は小学生・中学生ともに1位となり、高い人気を誇っています。中学生になると、男子においては、中学生になると医者や先生などの順位が上がっています。

日本人の子供が就きたい仕事ランキング (小学生対中学生)

	小学生				中学生			
	男子	%	女子	%	男子	%	女子	%
1位	サッカー選手	16.3%	パティシエ	24.6%	医者	10.0%	パティシエ	16.0%
2位	野球選手	11.4%	医者	8.6%	野球選手	7.3%	先生	12.0%
3位	医者	7.1%	先生	6.6%	建築士・大工	7.3%	医者	10.0%
4位	学者・博士	6.6%	お稽古事の先生	6.6%	先生	5.3%	作家	4.7%
5位	警察官・刑事	5.7%	漫画家	4.6%	パティシエ	5.3%	野球選手	4.0%
6位	運転手	5.7%	野球選手	2.3%	サッカー選手	4.7%	漫画家	4.0%
7位	建築士・大工	4.0%	サッカー選手	2.3%	警察官・刑事	4.0%	歌手	4.0%
8位	パイロット	3.1%	俳優・女優	2.0%	運転手	3.3%	俳優・女優	3.3%
9位	宇宙飛行士	2.9%	建築士・大工	2.0%	宇宙飛行士	3.3%	お稽古事の先生	2.7%
10位	救急・消防士	2.6%	弁護士	1.7%	救急・消防士	2.7%	サッカー選手	2.7%

- ※ N： 小学生700人、中学生300人

なりたい仕事を選んだ理由一部抜粋：

- ・ きれいでおいしいお菓子を世界中の人に食べて欲しい (パティシエ)
- ・ もっとも夢中になっていることで、好きなことを仕事にしたいから (サッカー選手)
- ・ 病気で痛い、苦しい思いをしている人を一人でも少なくしたい (医者)
- ・ カッコいい。年俸が高い (野球選手)

4) 地域別 日本人の子供が就きたい仕事ランキング 【東京・名古屋・大阪】

東京・愛知・大阪（東名阪）の地域ごとに就きたい職業の順位を調べたところ、各都市の1位は東京が「医者」、愛知と大阪は「パティシエ」となりました。1位～3位は地域ごとの違いはあまり見られませんが、他の地域と比較すると大阪では「作家」、「漫画家」などのクリエイティブ職や、「歌手」、「俳優・女優」などエンターテイメント系の仕事に就きたいと考える子供が多く、地域性の違いが出た結果となりました。

日本人の子供が就きたい仕事ランキング（東京・名古屋・大阪）

	東京都	%	愛知県	%	大阪府	%
1位	医者	13.6%	パティシエ	8.7%	パティシエ	21.6%
2位	パティシエ	10.2%	野球選手	7.2%	野球選手	8.0%
3位	野球選手	5.1%	医者	7.2%	医者	8.0%
4位	サッカー選手	5.1%	先生	5.8%	先生	5.7%
5位	弁護士	4.2%	学者・博士	5.8%	漫画家	4.5%
6位	俳優・女優	4.2%	運転手	5.8%	サッカー選手	4.5%
7位	先生	4.2%	サッカー選手	5.8%	歌手	3.4%
8位	パイロット	4.2%	警察官・刑事	4.3%	弁護士	2.3%
9位	建築士・大工	3.4%	宇宙飛行士	2.9%	俳優・女優	2.3%
10位	救急・消防士	3.4%	レストランのシェフ	2.9%	作家	2.3%

※ N： 東京都 118人、愛知県 69人、大阪府 88人

5) 日本人の子供が考える、職業ごとの予想月収ランキング

子供による予想月収ランキングのトップは「野球選手」、「サッカー選手」、「宇宙飛行士」、「歌手」、が同額の100万円でトップとなりました。

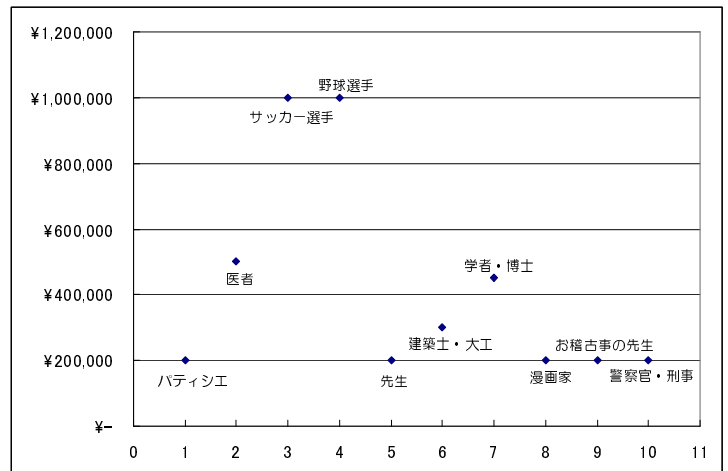
また、それぞれの予想月収と就きたい仕事を比較したところ、就きたい仕事で1位だった「パティシエ」の予想月収は20万円となるなど、就きたい仕事と予想月収に相関は見られませんでした。子供は、必ずしも収入の高い職業に憧れを持つわけではないということがわかります。（右下図「就きたい仕事と予想月収の相関図」参照）

日本人の子供による、職業ごとの予想月収ランキング

1位	野球選手	¥1,000,000
2位	サッカー選手	¥1,000,000
3位	宇宙飛行士	¥1,000,000
4位	歌手	¥1,000,000
5位	弁護士	¥800,000
6位	俳優・女優	¥750,000
7位	医者	¥500,000
8位	パイロット	¥500,000
9位	学者・博士	¥450,000
10位	建築士・大工	¥300,000

※ 同じ職種を10人以上選んだものの中から順位づけ
 ※ それぞれの職種を選んだ子供たちの合計金額の中央値

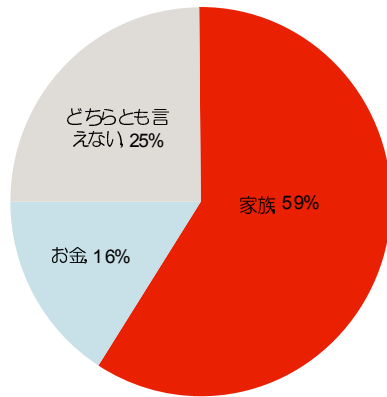
就きたい仕事ランキング（総合）と予想月収の相関図



※ 横軸： 就きたい仕事 ランキング（総合）

6) 「家族」と「たくさんお金を稼ぐこと」のどちらが大切か

およそ6割の子供が「家族」と回答し、お金よりも家族が大切であると思う子供が多い結果となりました。



(参考) 「家族」と回答した国ごとの割合

香港	96%
タイ	94%
マレーシア	88%
台湾	88%
ベトナム	83%
中国	81%
シンガポール	73%
日本	59%
韓国	回答なし

「たくさんお金を稼ぐこと」と「家族」の回答をした子供の理由一部抜粋：

【家族】

- かけがえのないものだから。
- お金があっても家族がなければ意味がないから。
- 家族はお金で買えない大切なものだから。
- 家族が仲よく暮らせる方が幸せだから。

【たくさんお金を稼ぐこと】

- お金があれば大体の事がうまくいくから。
- 家族を守るにはお金が必要だから。
- お金がないと何も買えない。欲しいものがすぐに手に入らない。
- お金がなければ何もできない。

7) 日本人の子供による、住みたい国ランキング

アメリカ合衆国が27%と、2位のオーストラリアより倍の差をつけ首位となりました。

日本人の子供による、住みたい国ランキング

1位	アメリカ合衆国 (*)	27.3%
2位	オーストラリア	13.9%
3位	フランス	5.7%
4位	ニュージーランド	5.1%
5位	イギリス	5.0%
6位	スイス	4.7%
7位	イタリア	4.4%
8位	カナダ	4.1%
9位	ドイツ	3.2%
10位	シンガポール	2.6%

N=663

(*)：ハワイ州を除く、アメリカ合衆国本土

住みたい国ならびに選出理由一部抜粋：

- ・ 有名な人はこの出身が多いから。夢をかなえられそう。(アメリカ)
- ・ 気候も良いし、自然がいっぱいあり平和な国なので。(オーストラリア)
- ・ 街並みが他の国よりおしゃれな感じがするから。(フランス)
- ・ 自然がいっぱいで穏やかそうだから。(ニュージーランド)
- ・ イギリスの人が親切だったから。紳士な人が多いから。皆優しいし穏やかだから。(イギリス)

以上

【アンケート実施概要】

【アジア各国】 P1の1)、P4の6)

- ・ 対象国 日本、中国、香港、台湾、韓国、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム
- ・ 調査対象 6歳～15歳の子供
- ・ サンプル数 日本 800人、アジア各国 150～200人
- ・ 実施方法 インターネット調査
- ・ 実施時期 2013年12月上旬

【日本】 P2の2)と3)、P3の4)と5)、P4の7)

- ・ 調査対象 日本全国の6歳～15歳の子供
- ・ サンプル数 1000人(男女各500人)
- ・ 実施方法 インターネット調査
- ・ 実施時期 2013年12月上旬～1月初旬

■ アデコ株式会社について

アデコ株式会社は、60を超える国と地域で事業展開する総合人財サービスのグローバルリーダー、Adecco Groupの日本法人です。コンサルティングを通じて、多様な人財を活かし、多岐にわたる業務の最適化を可能にするソリューション(人財派遣、人財紹介、アウトソーシングなど)を提供しています。働く皆様と企業の“better work, better life”の実現を目指し更なるサービスの強化に取り組んでいます。人と仕事が自由にめぐり会い、「求める明日」へと躍進できるようサポートすることが、私たちAdeccoの使命です。アデコ株式会社に関するより詳しい情報は、当社ホームページ www.adecco.co.jp をご覧ください。

【この件に関するお問い合わせ先】

アデコ株式会社 コミュニケーション室
Tel: 03-6439-7473